

自分ですすめる『学びの一歩』 大淀中学校 音楽科3年生編

題材名 歌詞と強弱の関わりについて考え、音楽表現を工夫して歌おう

教材 「花」 中学生の音楽2・3下 P4~7

題材の目標 ・歌詞と配置された強弱記号の関係を読み解いて、それぞれにふさわしい表現を工夫して歌う。

課題1 中学生の音楽3 4ページ「花」の歌詞をみながら、3回声に出して読みましょう。
読んだら○を黒く塗りましょう。 → ○ ○ ○

課題2 ()の中に言葉を入れ、歌詞の意味を完成させましょう。(教科書P4を参考に)

一 春の()隅田川を
上ったり下ったりして行きかう船の船頭が使う()のしずくが
()の花びらのように散っている
このすばらしいながめを一体何に()。

二 見てごらん()に露を浴びて
私に話しかけているような()を。
()夕暮れに手を差しのべて
私を呼んでいるような()を。

三 ()長い土手に
()おぼろ月が上ってくる
本当に、ひとときさえもとても価値のある
()

課題3 次の問い合わせに答えましょう。

(1) 一言でいうと、一番はどんな景色が見えていますか。

(2) 一言でいうと、二番はどんな景色が見えていますか。

(3) 一言でいうと、三番はどんな景色が見えていますか。

(4) 一番、2番、3番の中で、一番広い範囲を見ているのは何番ですか。

(5) 「おぼろ月」とはどのような月ですか。

課題4

次の記号の読み方と意味を答えなさい。

記号	読み方	意味
<i>p</i>		
<i>mf</i>		
<i>f</i>		
		
<i>rit.</i>		
<i>a tempo</i>		

課題5

おぼろ月はどうして *p* だと思いますか。

課題6

①3番の強弱の付け方には、どのような工夫がされていますか。

②また、作曲家は、どうしてそのような工夫をしたのだと思いますか。

課題7（自由課題）

この曲をインターネットなどで聴いてみましょう。

どんな感じ（雰囲気）の曲だったか、下の欄に書きましょう。